

3-15 蔵王山自然景観保全修復事業

事業目的

蔵王国定公園内において、登山客の増加により踏み固められた登山道が雨水の流路となり、あふれ出した雨水が隣接する高山植物群落を浸食しているほか、荒れた登山道を避けようとして、登山者が周囲の保全区域内を迂回することにより、希少な植物群落を荒廃させていることから、荒廃区域の確定と保全対策検討のため、環境調査を実施し、自然環境の復元を図ります。

事業内容

平成29年度事業費 3,000千円

蔵王山自然景観保全修復対策調査業務

- 荒廃区域及び植生状況の調査を実施
- 調査業務 6月～10月

事業効果

CO2削減効果	—
その他(保全面積)	2.0ha



蔵王山「お釜」

現状



植生が衰退している状況



登山道が雨水の流路となっている状況

税導入後のイメージ

芝草平を初めとする湿原等の保全により、コマクサなどの希少な高山植物群落の保護及び復元が図られる。

芝草平に整備した木道
(植生保護対策)

